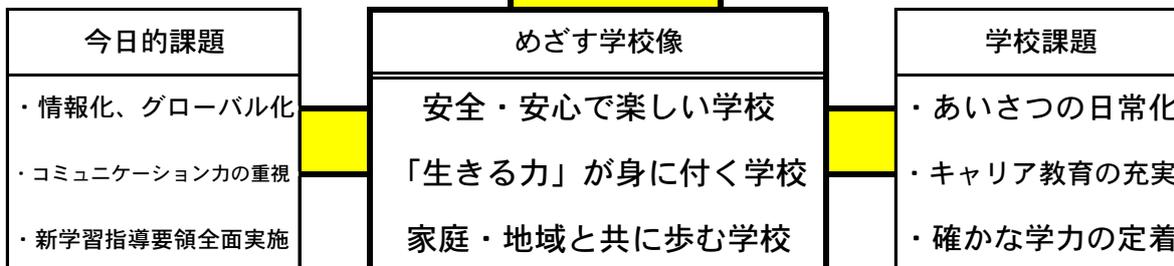


令和2年度 各務原市立鵜沼第三小学校 経営構想

各務原市教育委員会の重点
 誇り・やさしさ・活力のある児童生徒 ～ ひとりひとりが幸せを実感 ～
キーワード 『笑顔』



【学校の教育目標】 美しい心で、力いっぱいやりぬく子
 自ら考え、表現する子 自分や仲間を大切にすること 心も体もじょうぶで、たくましい子

指導の合い言葉 . . . 児童一人一人のよさをさらに伸ばす
 ◎自分を大切にする ◎友だちを大切にする ◎やるべきことをやりぬく

《学校経営の重点》 “職員一人一人のよさ” と “組織体制” を生かした指導

学年（部）によるきめ細かな指導	指導部会提案に基づく共通行動の徹底
<ul style="list-style-type: none"> ・心の居場所となる学級づくり <small>（いじめを許さない支持的風土の醸成と質の高い集団の育成）</small> ・豊かな心を育てる道徳の授業 <small>（生命尊重と思いやりの心の重視）</small> ・教科担任制の一層の充実 <small>（複数職員での一人一人の学力定着の確かな見届け）</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも、どこでも「あいさつ」できる子の育成 ・「掃除」、「給食」の取組の一層の充実 ・ボランティア手帳等を活用した「美しい心」の具体化 ・仲間を広げる「なかよし活動」 ・自治の力を育む「児童会・委員会活動」 ・安全と安心につながる「日常の危機管理に基づく指導」

カリキュラム・マネジメント（PDCAサイクル）を基盤として、重視する評価の視点

※校内（職員会）での情報共有は、確実かつ丁寧に行われ、指導に反映できているか。

※可能な限り最大限の教科担任制を導入したことは、児童の実感として成果を残せているか。

※保護者との良好な関係を築く中で、家庭と学校が一体となった指導ができているか。

※地域住民に適切かつ正確な情報提供を行うとともに、各種の地域団体との連携が図られているか。

※緑陽中学校区コミュニティー・スクールとして具体的な活動が推進されているか。